



双高だより

福島県立双葉高等学校 2009年1月

Tel0240-33-2131 Fax0240-33-2378

<http://www.futaba-h.fks.ed.jp/>

<進路状況>

いよいよ受験シーズンが到来しました。大学の一般受験は1月中旬のセンター試験以降になりますが、大学の推薦入試、各種専門学校、就職関係ではすでに多くの3年生が進路を決定しています。以下12月末日における進路状況を示します。

就職関係では、世界的な不況が懸念されるなか、就職希望者34名中、33名（うち公務員4名）が内定しています。進学関係については、すでに8名が国立大学（弘前大1・福島大2・茨城大3・宇都宮大1・横浜国立1）、2名が公立大学（札幌市立大1・会津大1）に合格しています。その他、私立四大に53名、私立短大に5名、各種専門学校に19名が合格しています。

双高では生徒の進路希望実現のために、放課後、就職や推薦入試希望者に模擬面接を実施しました。希望者には何度でも繰り返し、多い生徒では5～6回も練習して面接に対する苦手意識を克服しました。



小論文試験を要する生徒には、進路希望の専門性にあわせて各教科の教師を割り当て、添削指導を繰り返し、レベル向上に努めました。このような取り組みにより上記のような結果が生まれました。

一般受験の生徒も、通常の授業はもちろんのこと、放課後の課外授業、冬休み中の冬季講習を実施、苦手項目を洗い出して克服するなど、最後の追い込みを図っています。個々の力を十分に発揮するためには体調管理も重要です。努力が実って納得できる結果を勝ち取ってよい春を迎えて欲しいものです。

<学校行事>

新生徒会誕生

9月26日に生徒会選挙が行われました。定員1名の会長に2名が立候補し、久しぶりの選挙となりました。副会長2名は信任投票でした。その結果、新会長には写真中央の黒崎勇樹君（浪江東中出身）、副会長に写真左の國安祐太郎君（浪江中出身）と写真右の志賀雄樹君（大熊中出身）が就任しました。その他14名の生徒会執行部を中心に、会長自身が「楽しい学校生活をともに過ごしていくため『共在』という言葉掲げる」ように、生徒皆でより良い学校に構築することを期待しています。



修学旅行

2学年は10月18日～22日の日程で関西方面への修学旅行を実施しました。多くの生徒が楽しみとしていたUSJ（写真右）をはじめ、大阪城や奈良・京都（写真下は清水寺）の史跡・寺社を訪ね、普段は教科書や資料集でしか見ることのできない



「本物」に触れ、視野を広げてきたようです。また学校生活では味わえない班別自主研修や宿舎での友達との関わりは、かけがえのないものとなりました。



校内マラソン大会

11月7日、長い歴史と伝統を誇る恒例の校内マラソン大会が開催されました。男子10キロ、女子は4キロのコースを元気に駆け抜けました。この大会は、男女別の個人成績に加え、個々の生徒の順位が点数化されてクラスの順位が決定されます。生徒



一人ひとりが気を抜かず頑張りました。結果は以下の通りです。

	男子	女子	団体
優勝	松本直也（3年） （双葉中出身）	古濃綾（2年） （浪江東中出身）	2年5組
2位	林大智（2年） （大熊中出身）	畠山侑希（1年） （浪江中出身）	2年3組
3位	丹野晴彦（1年） （双葉中出身）	今村絢（2年） （小高中出身）	1年3組

<部活動の活躍>

双高生の部活動の活躍は、2学期もめざましいものでした。

陸上部の坂本宏樹君（富岡二中出身）は、ハンマー投げで10月に大分県で開催された国民体育大会に出場し13位となりました。

吹奏楽部（遠藤恵美部長 浪江中出身他）は9月に秋田県で開催された東北大会に26年ぶりに参加し、銀賞を獲得しました。



ソフトテニス部は、11月の新人戦県大会の女子団体（小林美貴部長 富岡二中出身他）において優勝しました。個人戦でも那須玲香（双葉中出身）・浅野眞理（大熊中出身）組が準優勝しました。また12月のインド

ア大会では、女子団体準優勝となり、1月に岩手県で開催される東北大会に駒を進めました。

剣道部は、11月の新人戦県大会において、男子団体（根本貴弘部長 広野中出身他）で3位となり1月に青森県で開催される東北大会進出を果たしました。

